

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和6年11月（着任5ヶ月）
主な活動	1. 【第二回】川辺魅力化委員会 2. 磨崖仏祭り取材 3. 地域みらい留学ミーティング

1. 【第二回】川辺魅力化委員会

11月6日、川辺高校にて第二回川辺魅力化委員会が開かれました。定例メンバーの元、現状共有と新たな企画について提案しました。地域と高校、行政を繋いで川辺高校の魅力を増やすと共に地域活性の役割を担えるような活動を起こしたいことを委員会内で共有しました。

これから立ち上げのために一つずつ課題を見出して万全の体制の元形を整えていければと思っています。

来年度から活動が行えれば理想的なのですが、そこまでに協力者への声かけや三者【地域・行政・高校】がどのような連携をとる必要があるかを考えつつ、準備を進めていきます。

内部情報のため、具体的な情報がまだ出せませんが、高校と地域と行政が共に前に進めるような一つの手段であると確信しているので、そこまで持っていけるように心強い協力者の方々と共に力を尽くします。

2. 磨崖仏祭り取材

11月10日、川辺の岩屋公園で開催された【かわなべ磨崖仏まつり】に参加してきました。毎年川辺高校の先生方と学生がボランティアで参加している祭りで、団体戦となる玉入れや手品ショーに豪華ゲストによるショーなど魅力が盛り沢山の内容でした。先生方は玉入れの団体にエントリーして参加し、運営をボランティアの学生たちが担当していました。私は、生徒会で構成されているSNS部と共に投稿する画像や映像の撮影、指導を行いました。Instagramの方に上がっているのでお時間あればぜひ覗いてみてください。

学生たちは休みの日を使って自分が通う高校の地域に貢献しているのを実際に目にして感心しました。多くの参加団体の案内や競技の時間カウントなど各々の仕事をしっかりとこなしていました。先生方も地域住民の方々と真剣に玉入れの勝負に参加されていました。学生や先生が地域の方々と協力体制の元、お祭りに参加することで地域の繋がりを大切にする姿勢がとても魅力的に感じました。この部分を地域みらい留学の魅力の一つとして紹介できたらと思います。



3. 地域みらい留学ミーティング

地域みらい留学制度に関して、高校の先生方が不安に思っている部分などを解消するべく、オンラインにて他県の地域みらい留学参画校に取材を試みました。他県から学生をお預かりして地域特有のその土地ならではの経験をしてもらう当制度の不安な部分として体調不良時の対応や現役教師の負担がどのくらい増えるのかなどを具体的な例と共に伺いました。各学校によってやり方は異なり、地方行政と協力体制をとったり地域に存在する企業にお願いして寮制度を充実させたりなどその地域の特性や状況によって、其々の方法で体制を形成し、支え合っている状態です。この情報を元に学校の先生方へ実際にどのような場面で指導が増えるのかや学校外の部分でどのように地域の方と体制を作っていけばいいのかを再度伝えたいと思います。その部分を理解した上で先生方と地域の方々が地域の活性化と地域みらい留学制度に取り組めば難しい点が出てきた時に補填がしやすいと思います。ありとあらゆる点を考えて万全の対策の元、未来ある学生を受け入れられる良い環境を作っていきたいです。

尚、今回、7月に大阪で開催された学校説明会で出会った先生方にもご協力いただき、誠にありがとうございました。引き続き他県の先生方と意見交換しながらより良い運営方法を模索していきます。